



【新しい募金のかたち】今年も始まります！
社会課題解決
みやぎチャレンジプロジェクト
 募金運動期間 2017年1月1日(日)～3月31日(金)まで

【新しい募金のかたち】今年も始まります！

社会課題解決

みやぎチャレンジプロジェクト

募金運動期間 2017年1月1日(日)～3月31日(金)まで

多くの人が学校や町内会、職場、街頭などで聞いたことがある「赤い羽根募金」。この赤い羽根は、共同募金会のシンボルとして長年親しまれています。昨年宮城県共同募金会（以下、県共募）は、新たな募金の形「みやぎチャレンジプロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトを通して、募金だけでなく市民がその地域の課題や日々活動している市民活動団体を知って応援してほしい、そんな願いが込められています。

そして、市民活動団体自ら、活動していく資金を集めることで、今後も継続して募金や寄付を集める意識を高める狙いもあります。

●●● **あなたが募金先を選べます** ●●●

今までは募金を集めた後、共同募金会が配分先を決めていました。しかし、募金をした市民にとっては、

どんな団体・活動に使われているのか、わからないこともあり、最近では募金する一歩につながらない要因にもなっていました。

そこで、県共募は市民活動団体と一体となって、市民自らが応援したい団体に募金ができる「みやぎチャレンジプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトで得た資金は、各市民活動団体が掲げた活動費として活用されます。

昨年は、県内の十五団体が市民への募金を呼びかけ、募金総額は二、二二三、〇八四円になりました。

●●● **地域の課題を知るきっかけに** ●●●

二〇一七年一月～三月末まで、県共募と県内の十九団体が募金活動に共同で取り組みます。

昨年に引き続き、今年もチャレンジしている団体は九団体。今年も

継続してエントリーした、NPO法人せんだい杜の子ども劇場理事の照井和子さんに話を聞きました。

「このプロジェクトに参加してよかったことはメンバーだけでなくボランティアで参加している人も団体の活動を自分の言葉で伝えることができるようになったんです」と話します。そして「市民の皆さんからの応援・共感、大きな励みになりました」と照井さん。

そして、市民活動団体とともに取り組む県共募の八木明彦さんは、「自分たちの活動のために、共感という気持ちも込められた募金を集めることは、活動を続けて行く上でも、重要なこと」と言います。

エントリーするのは昨今の少子高



▶みやぎチャレンジプロジェクト説明会

高齢化や格差社会によって増えている、自殺・虐待・いじめ・路上生活者・ニート・災害・子育てなど多様な生活課題を解決したいと奔走する市民活動団体です。

身近な地域で、こんな活動をしている団体があったのか！と、新たな発見があるかもしれません。

募金や寄付を通じて、社会課題や市民活動団体の活動を知り、応援する市民が増え、募金につながる。社会課題を私たち市民が意識することで変わる、変えていくことができます。

<応援しよう!>

①参加団体の活動内容を見てみよう！
 宮城県共同募金会のホームページ「社会課題解決『みやぎチャレンジプロジェクト』助成事業ページ」をご覧ください。
<http://akaihane-miyagi.or.jp/challenge>

②寄付しよう！
 参加団体から専用の振込用紙付「募金用紙」を受け取り、お振込みください。